

# 事故の原因

事故を増やしているのは誰？

最近、運転事故の増加が問題になっています。この原因として、乗務員の不注意や怠慢が問題視されており、会社はそれらによって起きた事故に関しては、**今後教育を強化する**と発表しました。しかし、本当に原因はそれだけでしょうか？

例えば事故の原因として、多く挙げられるものの中に「お客さまに気を取られて」というものがありますが、これは**不注意を助長している環境要因も問題と考えられます**。例えば駅は有人駅とし、適切な要員が配置されていれば、乗務員は運転取扱いに集中する事ができます。また、信号違反は殆ど全てワンマン運転時に起こっている現状を考えれば、一番の対策はツーマン運転ということになりそうです。しかし、会社は赤字削減を大義名分にそれらの対策は行いません。**コスト削減と安全という二兎を追い、問題が起きれば乗務員だけに責任追及する姿勢にこそ、問題があるのではないのでしょうか？**労使協調という言葉も聞かれますが、それに反して、明らかに服従の関係が成立しているように思えます。

責任転嫁ではないですか？

皆さんは福知山線の脱線事故のことを覚えているでしょうか？当時、事故の原因として行き過ぎた日勤教育が問題視されました。その後、教育についてはJR各社、改善が為されましたが、JR九州はそういった教訓も忘れたのでしょうか？安全創造館で過去の教訓を学べと言われましたが、完全に逆行しています。

今後、運転士については24時間を超える行路を作成する事を会社は発表しています。拘束時間が長くなれば当然、それと反比例する形で集中力は低下しますし、疲労回復に充てる時間も短くなり、事故を助長します。また、これだけ社会的に高齢者の事故が問題視されていますが、60歳以上の労働条件については全くの手付かずです。

**コスト削減、労働強化の限界が事故の増加という形で明確に表れている現状は、ある意味当たり前前のごとくであると言えます。**これだけ事故が増えれば労働環境に問題があるのではないかとまず考えましょう。

各種発表会などの業務外の自主活動も年々増加しており、社員の疲労は限界です。



我々は「従業員」ではなく、「労働者」です。



若いカ

第 127 号

2019年 10月15日

発責 国労九州本部

博多区博多駅東3丁目9番3号

ニッコーハイツ1003号

JR 092-2075

NTT092-483-1515